

特

3972

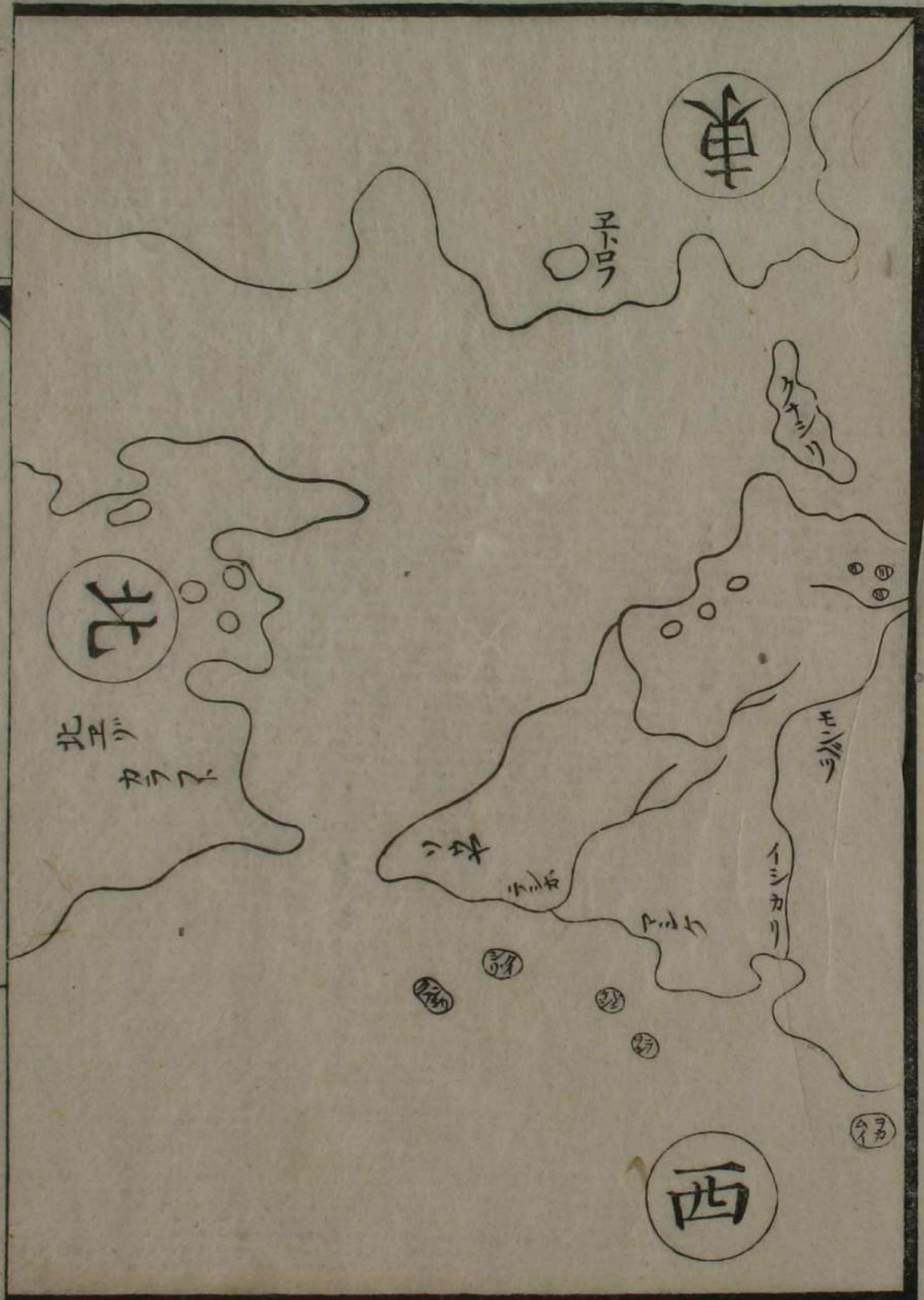
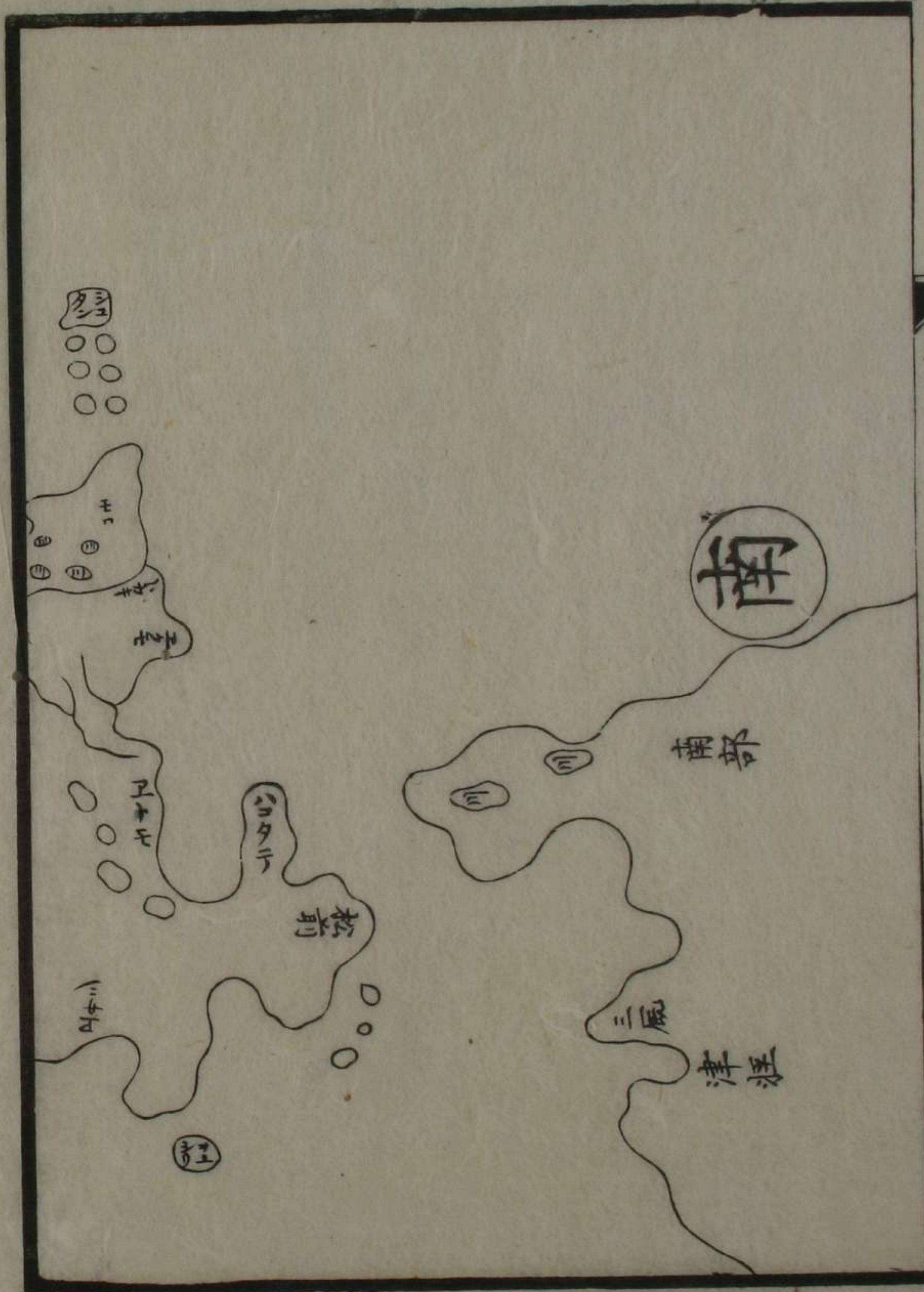


蝦夷人物圖說目錄

- 一 蝦夷古圖并上中下人物圖說
- 一 男兒射藝并婦女舂兔運送同熊の子飼養並圖說
- 一 家の造り秋舟の造り秋海物をえ圖說
- 一 衣服守袋の圖說
- 一 弓矢太刀服差或は桃子盃の圖說
- 一 石弓小力棒の圖說

後編近刻

文庫人物圖記



○大の圖ハ帳夷の都長子と
上は弓矢をとり

男は惣袴をツカイといふ
女の惣袴をメノコシといふ
丈城ボクといふ妻をマタ
といふ

この圖ハエッ人唐山の服掛着と
莫斯哥未亞の被里といふを
こつり日本れた口巾帯を躰に



○中島の男夷大がるはらの姿あり

あのエッ人目を此古着と服
廉のまの腰に
する躰あり



○下品の男獸はを着るたれなあり
裾もたるもの日本此高帽子ぞも

用ひやと自玉あても

制するあり中下品の

帯る昭差神タシロ或ハ

マキリとふふ日本より海は

出刃包丁れるおはしく悉く酒回打



○この圖ハエツ上品女のほごあり

女いふ面お草むれありいハ解と松子

手切跡おするあり唇をばうは

いれどみくまをあ

ほごあり

あめ衣服の織の自玉らめあ

あらび皆日本とる平乃織のの

本あてましくむきぬあり下品は後あをたけ用



○中品の女はおぶるの
まがごあり

飛夷ハ男女ともお眉まゆげを

一文字お生ほぐくなまおの介

熱身あつみお毛多し上下とも男

女すまも後うしろはよく手てお石いしお

踏ふんで少しも痛いたむことお

男夷おとも今いま獣けものお痛いたも皆みなすは



○下品の女はおぶるのほぐご

この衣服いふく乃な地ちをアツあつくことお

けものぞかり自由じゆうおく制せいする

あり髪かみのから髪かみ髪かみ髪かみの

はけおあまわるとと之これ

精粗せいそおあま



かこみこ
エゾの男児ら坊
射習ふ軒



木の柵を輪^まかへしは是城あり
が^い多射^いるを^い里^いの
目を付^いけあ^いる^いあり



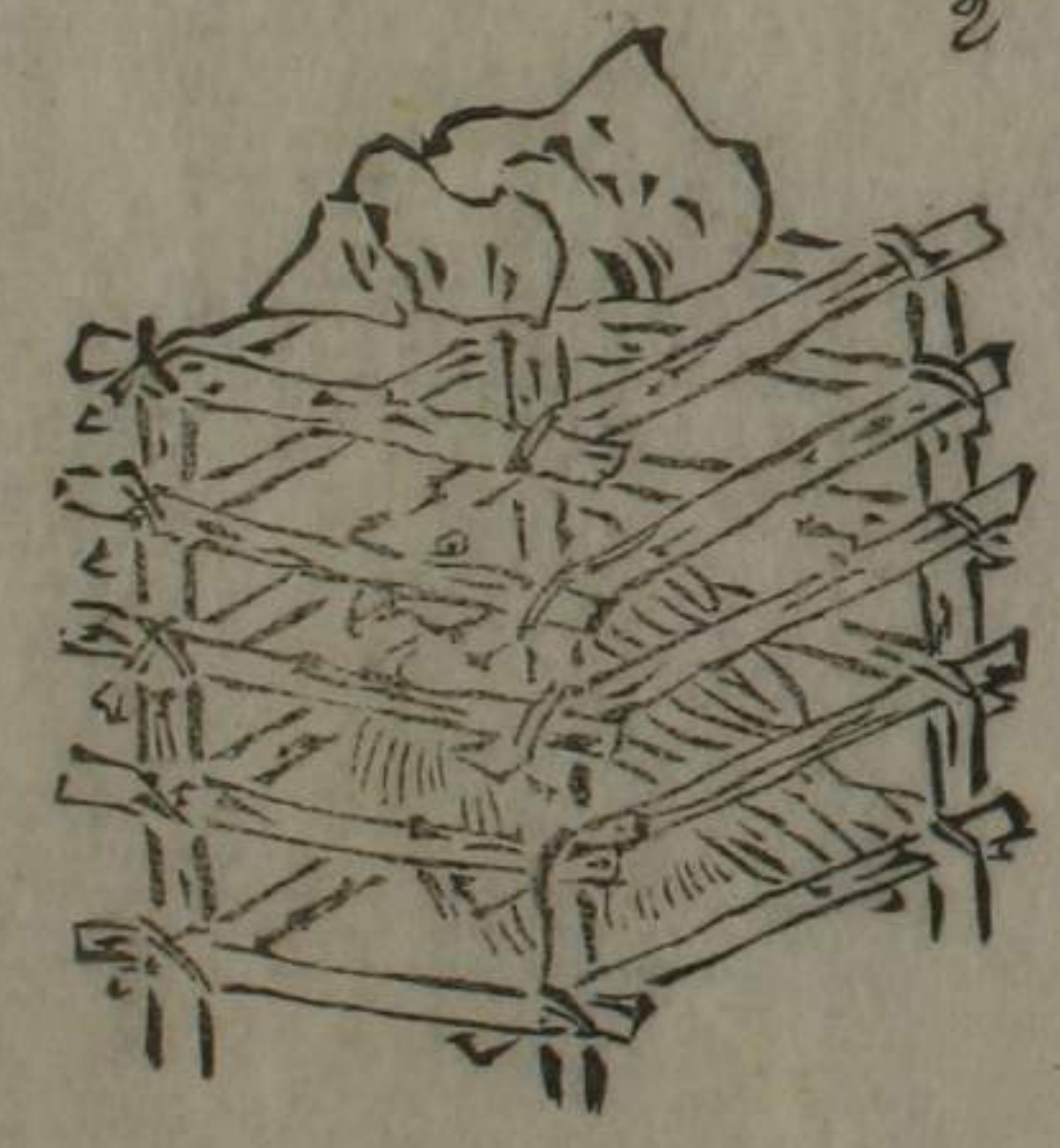
○ 下品の女さげ鮭魚さけ也
 負かふまのめ
 運えん送きはる
 舟ふねのり

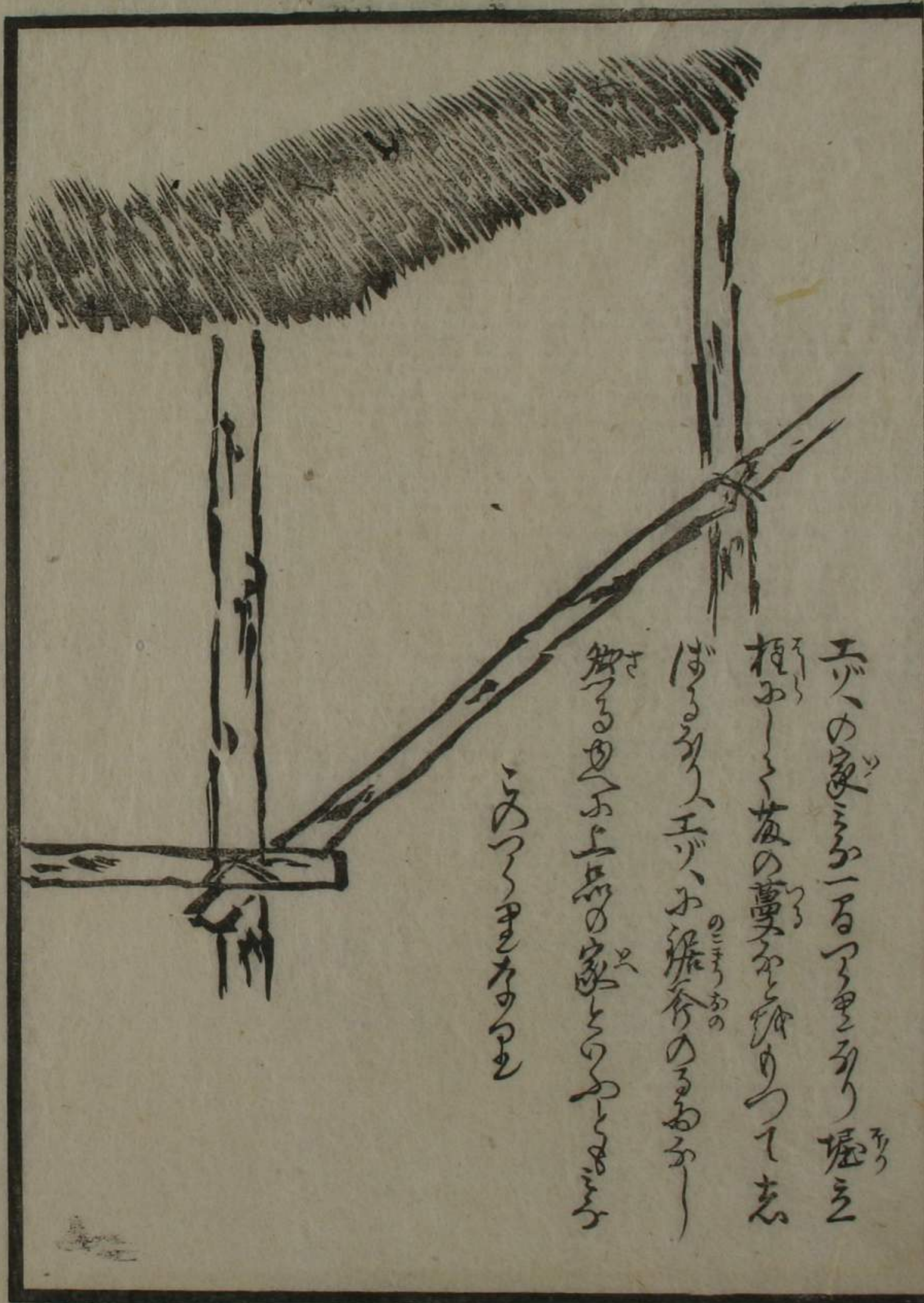
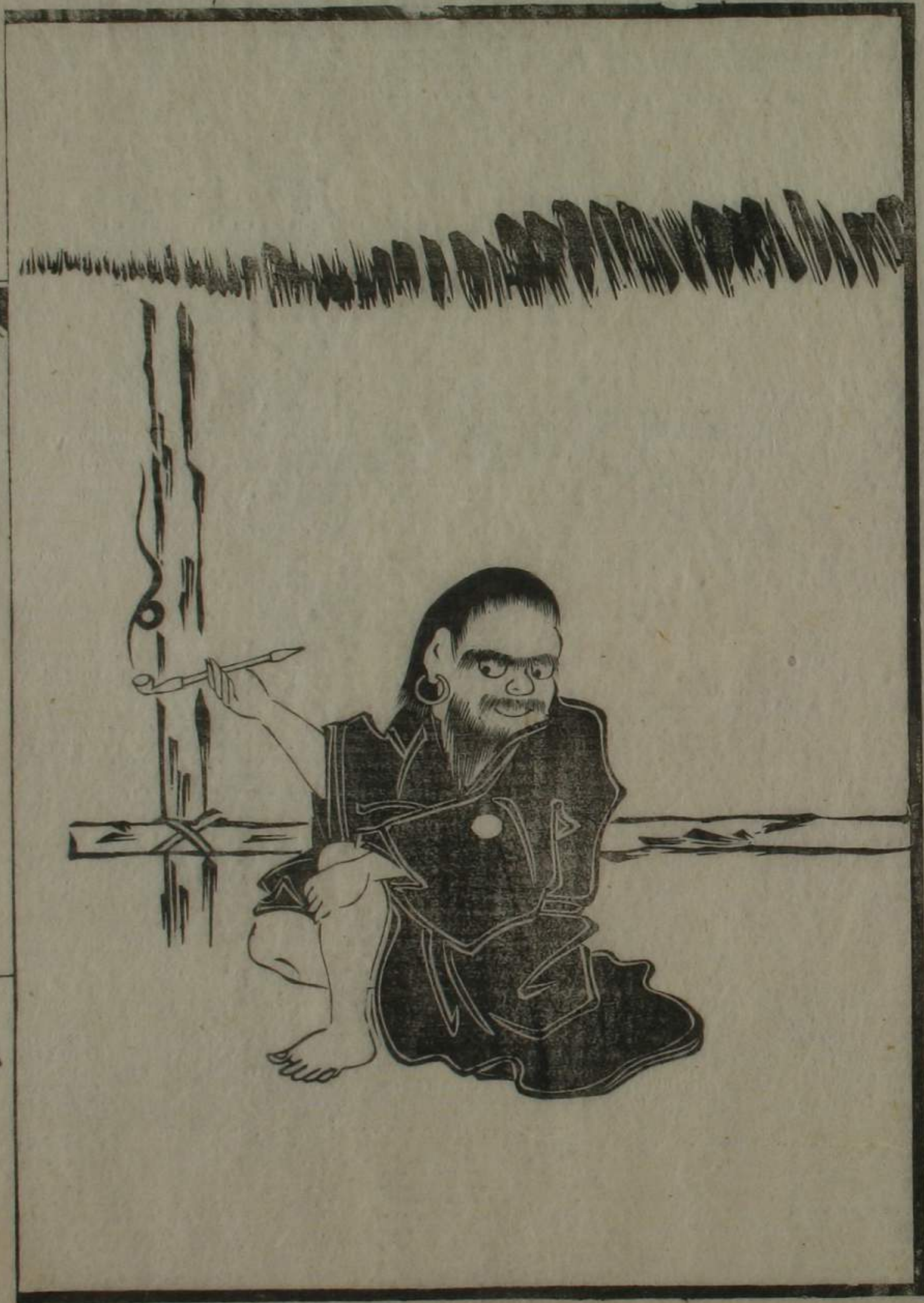


○下品の女間熊の子細飼を
 乳を飲ませるのあり
 是ハ熊の子細飼
 の中を抱たける時
 その熊の毛をかく生る也
 ありまゝくは細飼
 賣す一也



まのこ熊の毛をかく生る也
 こゝろをかく生る也
 此れハ熊の毛をかく生る也





エゾの家は二百ア重なり^{ちり}堀^{ほり}え
 根^ねや〜々^{々々}の蔓^{つた}を^を絡^かりつて志
 ばる^{ばる}り人^{ひと}エゾ、お^お深^{こほ}倉^{くら}の^のあか
 知^しる^るゆ^ゆお^お上^{かみ}の^の家^やの^のあか
 こ^こあ^あつ^つま^まな^なる^るも

蝦夷の物語

○エヅク海物をとるふ
あつとせわ
 うくれごとく、ヤス、を
ふやづま
 りて投突るはるえ



○エゾの舟はかく丸木を舟なり
 大木切獲てせよ以又板を縛
 むはびやうと造る者二人
 のうもと三人れちや一人阿
 加河の舟も是くもよび
 々々まがれは水つりて舟

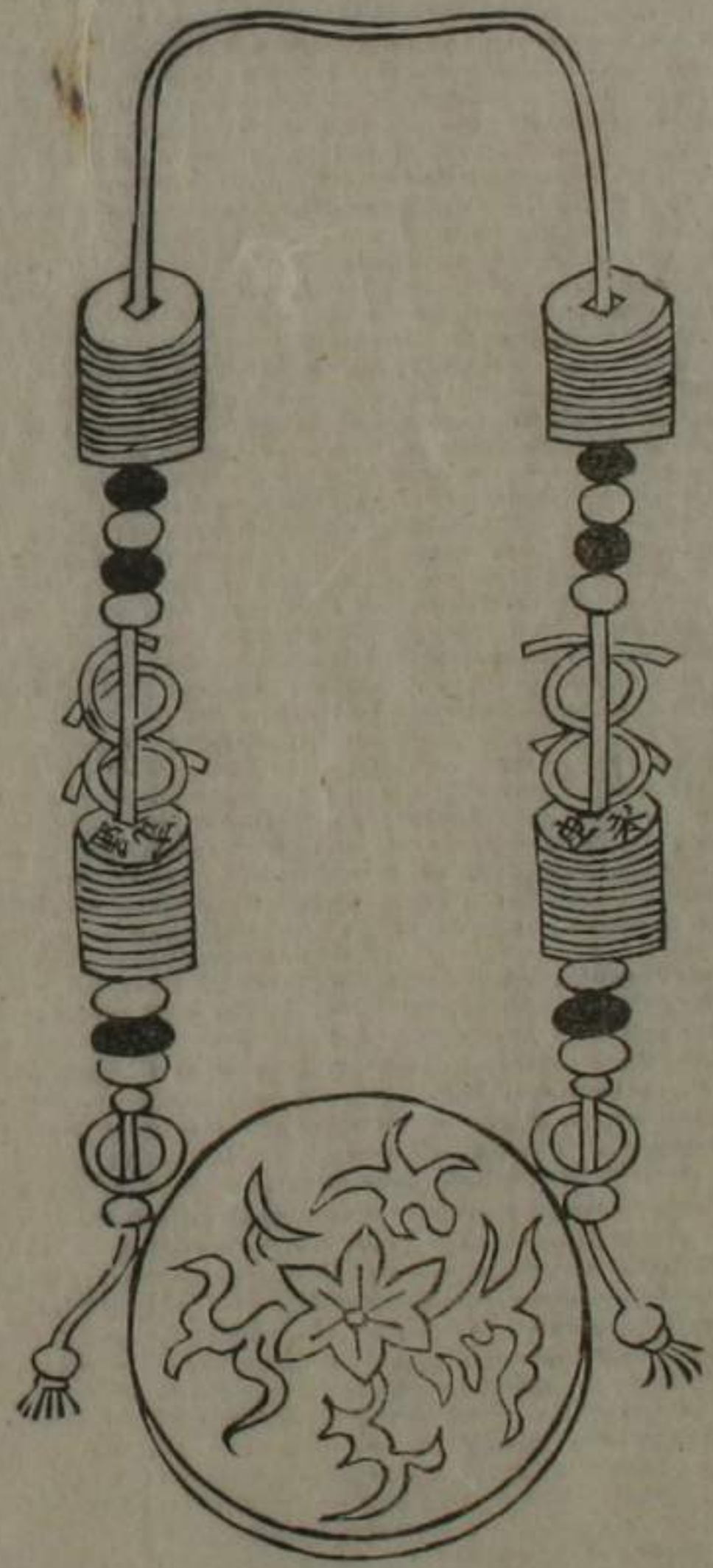


はむといふの岡丸木舟
 ありあさむはびの舟
 こも累す



○シトキの圖

女の首くびにはくるものありちぢふくるものありなり



○アツシ

すべて衣服をアツシ

トウと棉を

その服のあはれのとき着は

る日本の古着は純子

儒珍をひとの之

ゆまの緋乃本綿をさ

あくふ切てぬめつる之

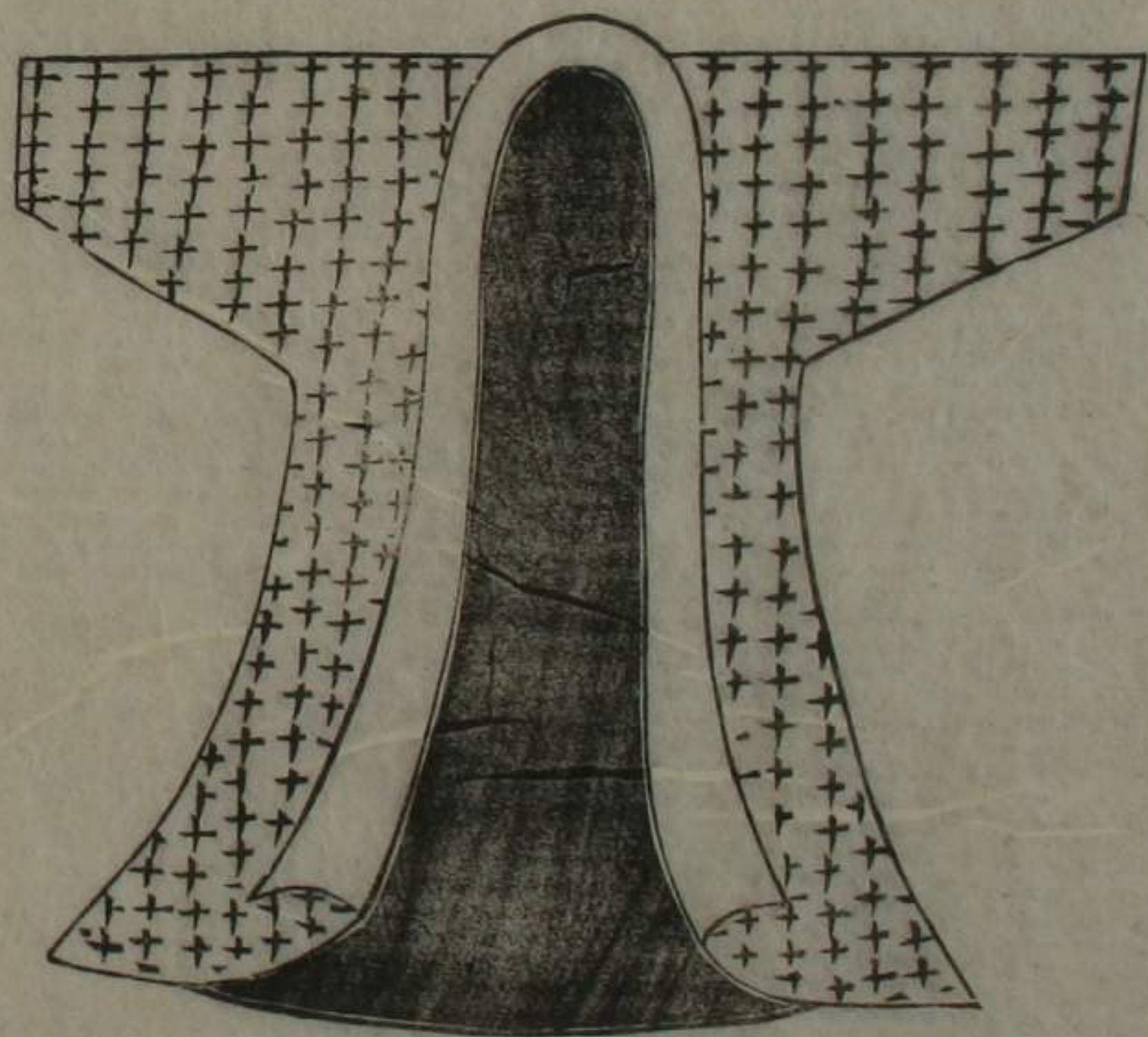
女の服ハゆまの禁制なり



袖へりハあらん之
長まハ對丈目九寸也
合はるあり

○アツシ

あつし織りのぼろ
自是亦あせわは
ゆめあり



○男れ衣服あり

是則もちこれの
ゆめ満ちカラト
強くあるもの
エツヤありとの
ありあり

袖を四寸袖返す
着るは是をる脚



靴朝の風を今唐山もあ制あり

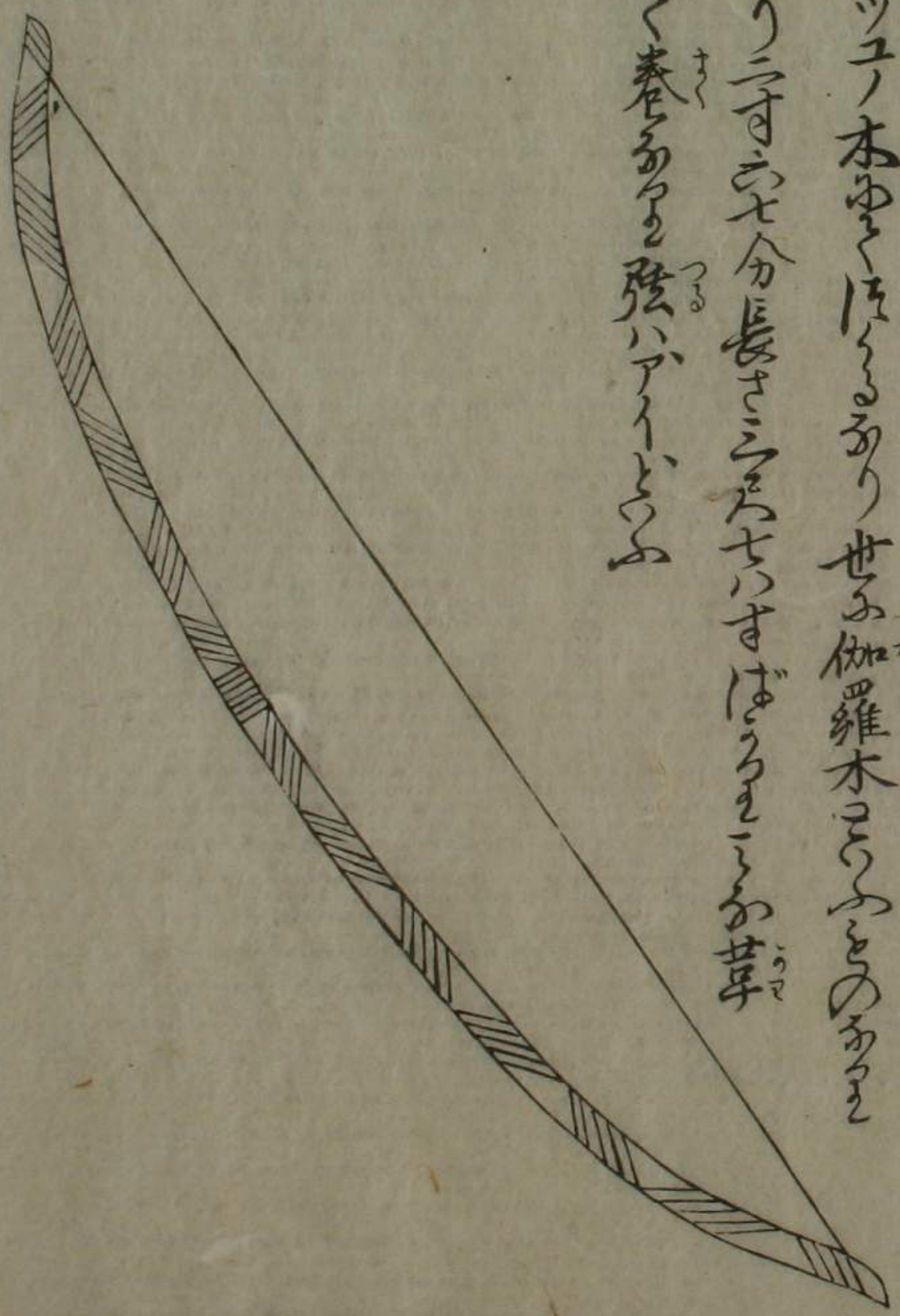
○女の衣服

男は衣服の似く
神は了脚のあり
るをくはあれ又
唐古のものなり



○弓 ハゲトコ

オツユノ木ゆくほくあり世ふ伽羅木このふとのあり
四の二寸五分長さこたすはばらるるこの草
あく春あるを強ハゲトコ

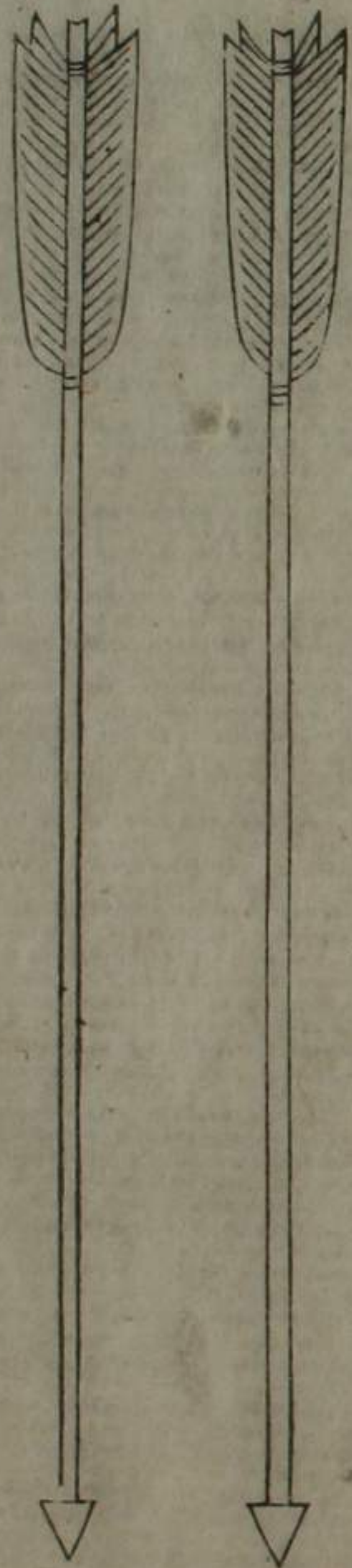


○ 箭^ヤの根^ネ

矢の根ハ麻^マ此^{コノ}骨^{ハネ}也
ゆらゆら^{ユラ}あり
其^{マコト}の根^ネハ竹^{タケ}を^カき^テ
よ^クく^ク小^コ竹^{タケ}を^カき^テ
糸^{イト}あり^タ花^{ハナ}か^クなり



○ 矢



長^{ナガク}は^ナ三^{サン}寸^{スン}大^{オホク}は^ニ寸^{スン}也^{ナリ}
四^ヨつ^ツ羽^ハあり^ニ根^ネの^ノ長^{ナガク}は^ニ寸^{スン}也^{ナリ}

○ 矢筒

エゾ、こぼお、イカ、フ、と、ふ

長さ一尺六寸 径五寸

四寸分葉、み、ま、く、り、

あり、あり、あり、あり、

あり



○ ユマサ

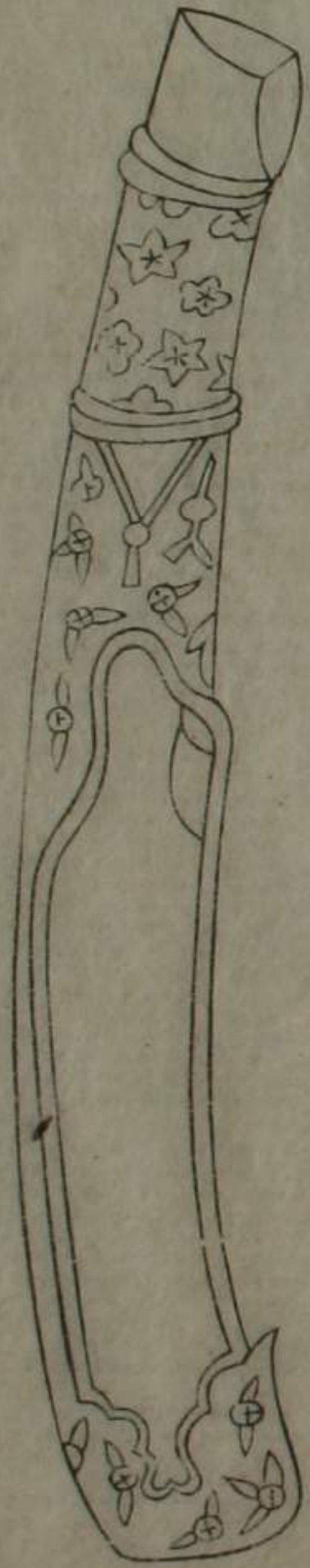
服袴のるゝあり、正身いふ、一、布をけげらる

さ、一、込、ち、く、な、り

柄の、女、さ、み、寸、鞆、さ、ら、み、寸、幅、七、分、厚、三、

寸、分、金、具、ハ、層、和、志、諭、ち、ち、り、の、な、り

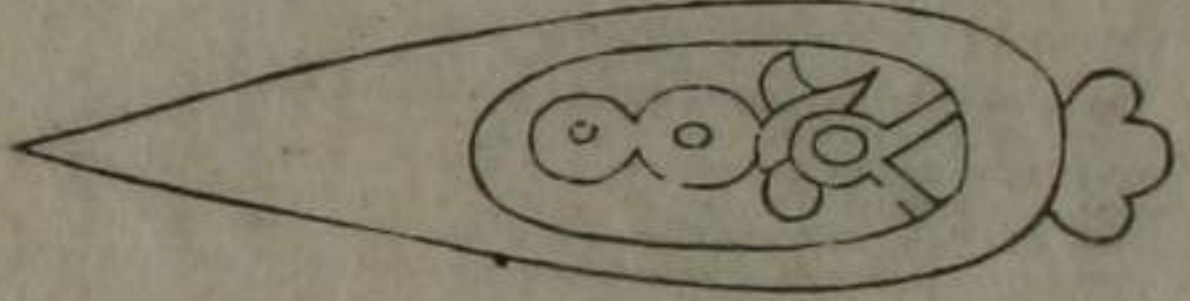
を、先、流、



裏表、ふ、し、の、櫃、有、る、と、一、寸、六、分

○ 算うしん

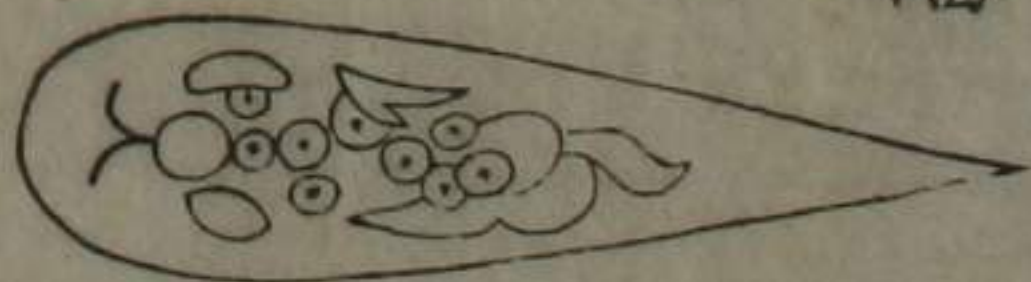
模状ハ浪のなみ色彫しきが之
幅あし五分余あま不ふき寸すん
はろはろろ子こ極ごくの中なかハ
赤あか洞どうありありとありありとありあり
鏡かがみ全ぜんく日本にっぽん細こううと



右みぎ以も左ひだりれれももユユママササののハハカカ權けんふふささんんありあり

同

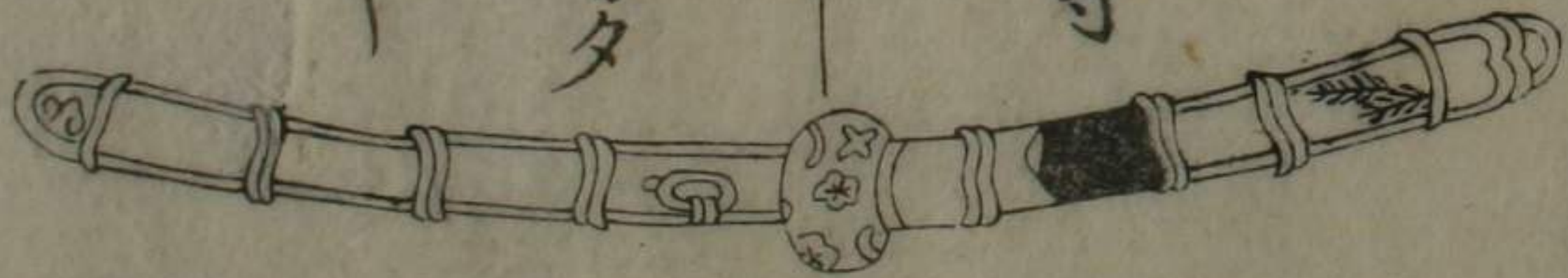
模状ハすかすか彫彫幅幅
七しち分ぶん五ご分ぶん余あま寸すん
熱あつ地ぢ赤あか丸まる輪りん



○ 丑うしモもシしツつホほ あれあれハハ心こころ刃やいばのの刃やいばありあり

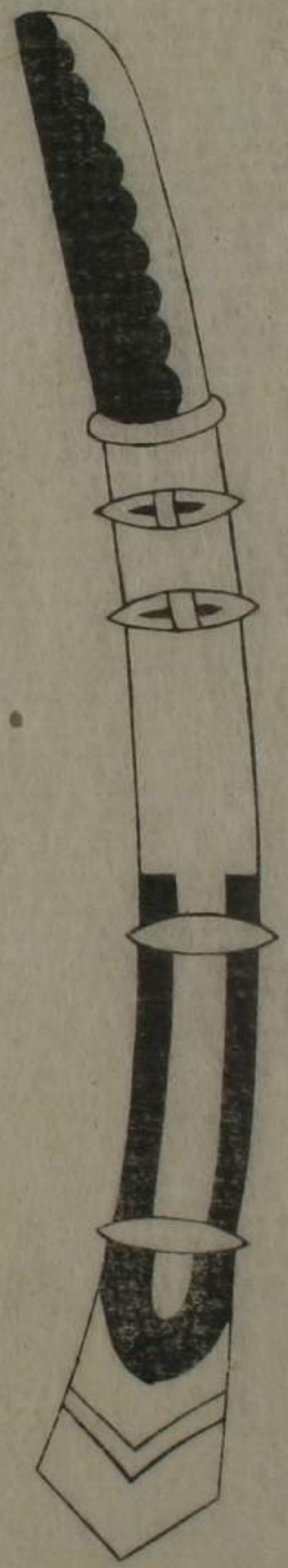
柄つかのの長ながささ二に分ぶん寸すん
幅あし五分ごぶん厚あつささ四分よんぶん

クリカタ
白しろメ
ああぶぶ



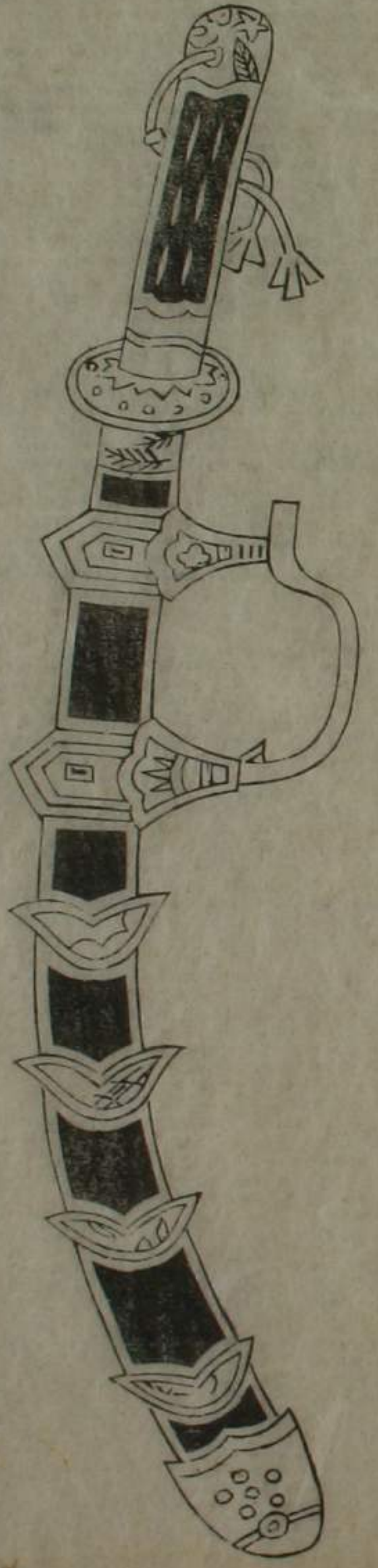
○サスカマキリ 小カのるおこ

刃口すまうり 口の長ささき尺二寸
磨の角をりくさやとす



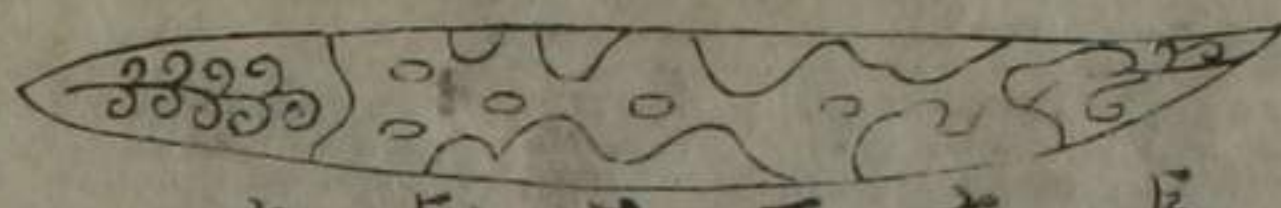
エゾ太刀

そのうらみぐ まんちう
お金具志餘あるひいお光お
可^い良^い金減金^うち出^しり^る
ほぞ志^られ^る金^具お^き



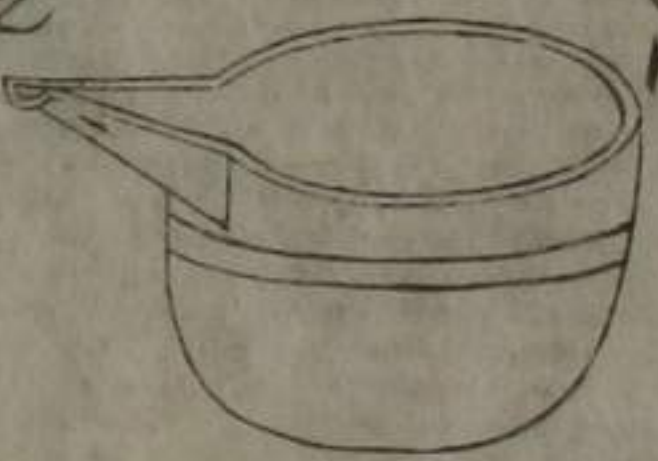
ふつこ
西^の刀^の長さ^七寸^余鞘^{長さ}二^尺寸^余幅^二寸^{二分}

○ 髷上 ひげあみ



長さ一尺二寸余幅
六七分彫りあり
エゾ人酒をのむ時
このものを
髷かきくみ
あげのむと云
つと

○ 鉋子 こぎ



径五寸五分

深さ二寸計

○ 盃 さし



径二寸余

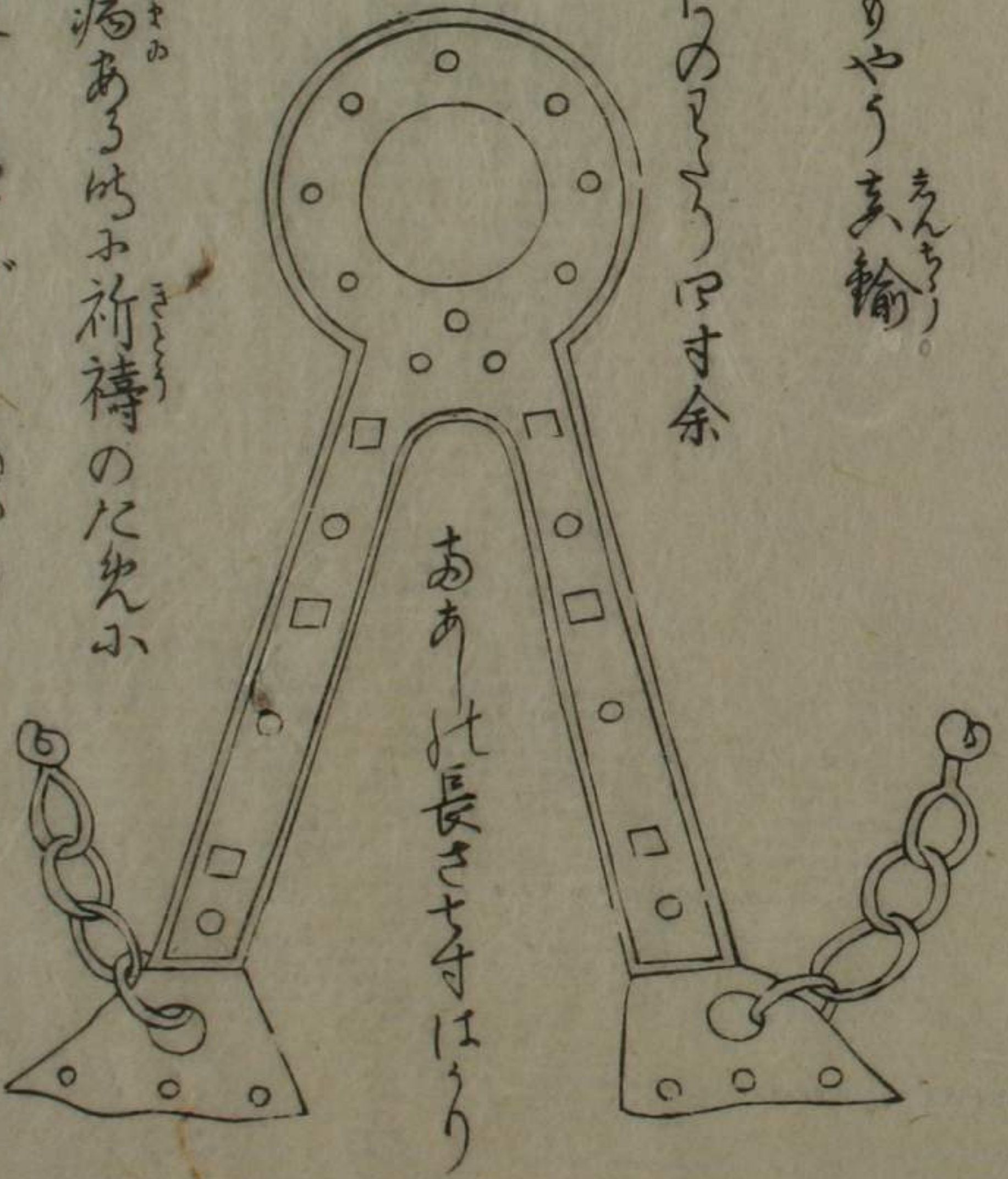
深さ一
寸五分

エゾ酒かー日本北高船エゾと交易はくとあふ
酒一升あり二升あり三升ありと云ふありやふへき

○ ワサキ

地産換りやうま輪 まんとろ

うららのまろは寸余



ああ北長さ七寸はうり

エゾ人病あるは祈禱のたせふ
ヤラらえり並なるりものあり

○懸刀平才無刃 ウケノハコ ヘナシ

あうけ 袷エリおて
あうなり

日本のさかざおの
みど



角の
角あり

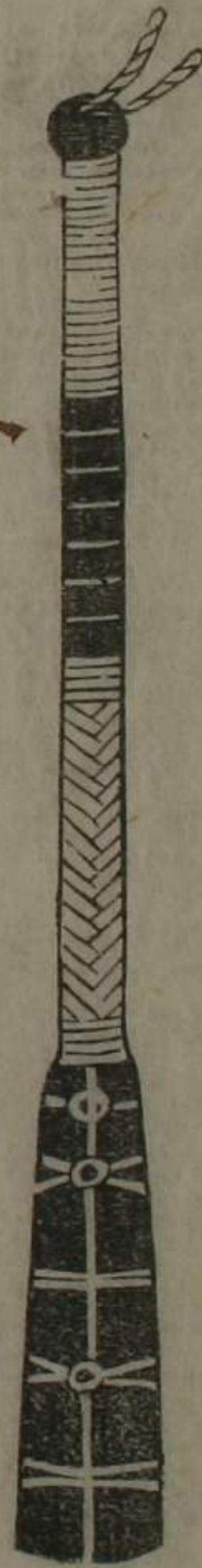
あは袷す
あお肩あり
ありあり



右刀ふがき二尺余柄の長さ七寸ばうりかけ袷の幅二寸余
鞆のうらまき まき あし お さ の 幅 二 寸 余

○人死するるとき葬送かまひて一節のりぬもおまつたりて
 地の施^{せま}をたる人のうらたての刀おてうちほげあうつ
 て血をひきこれ不孝^{ふこう}不悻^{ふせい}の法をせむるこれをエゲ、
 ちてめうちとふ

○ スツウチ棒



これおんちうちふ羽ゆら多し長さ二尺四寸
 太さ一寸七分新く糸あてまくん

